

第3章

施策の内容

基本目標Ⅰ

あらゆるひとの人権を尊重する
男女共同参画に向けた意識づくり

第3章 施策の内容

1. 基本目標Ⅰ：あらゆるひとの人権を尊重する男女共同参画に向けた意識づくり

施策の方向性1 男女共同参画に関する意識・理解の浸透

①現状

本市では、「広報なりた」や男女共同参画に関する情報紙「さざなみ」を通じて、市民に対する男女共同参画に関する情報提供を行うとともに、「男女共同参画講座開催事業」「講座教室等開催事業」等の意識啓発の場の提供を継続的に実施しています。

「成田市男女共同参画社会に関する市民意識調査」（平成27年度実施）では、「男は仕事、女は家庭」という考え方については、「同感する」が6.6%、「同感しない」が48.4%であり、前回調査・前々回調査との比較では、「同感する」の割合は減少傾向にある一方、「同感しない」の割合は増加傾向にあります。また、性別・年齢別で見ると、「女性30歳代」「女性40歳代」「女性50歳代」「男性50歳代」「男性60歳代」では、「男は仕事、女は家庭」という考え方について「同感しない」が50%を超える一方、「同感する」は5%未満となっており、これらの層を中心に、性別による固定的な役割分担意識が薄れつつあると言えます。

しかしながら、社会の様々な局面での男女の地位の平等意識をみると、特に女性の中年層（40歳代・50歳代）・高齢層（60歳代・70歳代）で「男性優遇」の回答割合が全般的に高く、男性が思う以上に、家庭や職場、地域社会等における女性の地位の不平等感が、女性の意識の中に根強く残っていることが伺えます。

男女平等な社会にするために今後必要なことについては、「男性が積極的に家事・育児に参加できるよう、働き方や制度を見直すこと」「男性自身の意識をあらためること」「男性が女性の社会参画に理解を持ち、協力すること」「子どもの時から、家庭や学校で男女平等について教えること」が上位に挙げられています。

②課題・方向性

成田市民全体において、「男性は外、女性は内」という意識は薄れつつあり、今後もこうした傾向が持続するよう、性別による固定的な役割分担意識を払拭するための意識啓発とともに、「社会全体」「職場」「家庭」等、実社会における男女不平等感を払拭するための取り組みが必要です。

従来から実施している活動を今後も継続していく中で、特に男性への働きかけを通じて、市民全体における男女共同参画に対する理解を深めていくことが必要です。

③事業

事業名	事業内容	活動指標 ¹	担当課
男女共同参画・DV防止に関する情報提供の充実	男女共同参画社会の形成に資する情報（あらゆるひとの人権尊重を含む）及びDV防止に関する情報を提供するため情報紙「さざなみ」、「広報なりた」、「市のホームページ」「まなび&ボランティアサイト」、「行政資料室」などにおける情報提供を充実します。また、他の事業と連携して、本市における男女共同参画に関わる活動情報を多面的にPRします。	提供した情報内容/ 提供回数/発行部数/ /他の事業との連携 実績	市民協働課
男女共同参画講座開催事業	男女共同参画社会の実現やDV防止に向けた様々な課題を解決するため、講座や講演会を開催します。 また、企画運営に公募の男女共同参画推進員の参画を得ながら開催します。	講座開催数/ 参加者数（男女別）/ /ターゲットを限定 した講座の開催 実績	市民協働課
講座教室等開催事業	男女共同参画を推進するという視点に立った各種講座教室等の開催に努めます。	講座開催数/ 延べ参加者数 （男女別） *男女共同参画に 関連した講座	公民館
法制度等の周知	男女共同参画に関する認識を深め、定着させるため、男女共同参画社会基本法や、各種の関連法制度の周知に努めます。	提供した情報内容/ 提供回数	市民協働課

¹ 活動指標（アウトプット指標）とは、今後の活動結果を把握するものです。

④成果指標²

指標名	前回策定時 (平成22年)	現状 (平成27年)	目標値 (平成32年)	担当課
「男は仕事、女は家庭」という考え方に「同感する」という割合	12.5%	6.6%	5.0%	市民協働課
「家庭のなかで」の男女の地位の平等感（「平等」という割合）	32.6%	31.1%	34.0%	市民協働課

* 目標値の達成状況は、次期計画策定時に実施する市民意識調査で把握します。



² 成果指標（アウトカム指標）とは、各事業を実施することで新たに創出された成果を示します。

施策の方向性2 一人ひとりを大切にする教育・学習の推進

①現状

本市では、キャリア教育の充実や、思春期の児童・生徒の悩みに対する支援事業等を通じて、一人ひとりを大切にする教育活動を実施しています。また、男女共同参画の視点に立った親子学習講座等を開催しています。

「成田市男女共同参画社会に関する市民意識調査」（平成27年度実施）では、子どもを教育する場合、「女らしさ、男らしさ」という考え方を意識するかどうかについては、「意識する」「多少意識する」を合わせた肯定派が75.7%を占め、前回調査とほぼ同様の結果となっています。性別でも、肯定派の割合はほぼ同様です。また、子どもの教育について、「性についての正しい教育をする」「性別に関係なく能力や個性を生かせるような指導をする」「男女の区別なく家事の分担をさせる」の重要度が高くなっています。

こうした意識は、女性・男性という身体的な違いを理解しつつ、ひととしての個をみつめながらも、固定的な性別役割分担意識を植え付けず、男女共に個性と能力を十分に発揮できるように教育することの重要性を示唆していると考えられます。

②課題・方向性

教育・学習を通じて、男女共同参画の考え方をより広く浸透させていくことが必要です。

子どもの教育においては、女性と男性の違いを理解しつつ、それぞれが持つ特性を考慮しながら、個を生かしていくことが必要です。

③事業

事業名	事業内容	活動指標	担当課
キャリア教育の充実	児童・生徒一人ひとりの勤労観、職業観を育て、性別にとらわれず、自分の進路や職業選択等を考える力や、主体的に進路の選択ができるよう、キャリア教育の充実に努めます。	事業実績	教育指導課
家庭科教育の充実	男女が相互に協力し、家族の一員としての役割を果たし、家庭を築くことの重要性を認識させるため、家庭科教育の充実に努めます。	授業時間数	教育指導課

事業名	事業内容	活動指標	担当課
健康教育の充実	児童・生徒が自らの健康について正確な知識と情報を得て、生涯を通じて健康を大切に管理し、改善していく能力の育成に努めます。また、自分自身を大切にし、相手の心身の健康についても思いやりを持つことが出来るように、発達段階に応じた健康教育の充実に努めます。	事業実績	教育指導課
情報教育の推進	児童・生徒の情報及び情報手段を適切に選択・活用する能力など、メディア・リテラシー ³ の育成に努めます。	事業実績	教育指導課
教育相談事業	児童・生徒の学習、交友関係、進路などに関する悩み、親の子育てや家庭教育に関する悩み等を解消するため、教育相談を実施します。	相談件数	教育指導課/ 生涯学習課
思春期の児童・生徒の悩みに対する支援事業	多様化する思春期の児童・生徒の悩みに対応するため、専門家を派遣し、教職員等に対し指導助言を行います。	事業実績	教育指導課
教職員研修の充実	人権教育に関する研修を充実し、教職員の資質向上と意識啓発を図ります。	人権教育に関する 研修実施数	教育指導課
個性を生かす教育推進事業	小・中学校に学校サポート教員及び健康推進教員を配置し、児童・生徒一人ひとりの個性に応じた教育を推進します。	配置教員数	学務課

³ メディア・リテラシーとは、テレビや新聞、インターネット等の情報媒体を使いこなし、それらの情報媒体が伝える情報を理解する能力のことです。

事業名	事業内容	活動指標	担当課
講座教室等開催事業の充実	親子を対象とした「子ども体験学習セミナー」など、男女共同参画の視点に立った「親子学習講座」等の充実を図ります。	講座開催数/ 参加者数（親子別・男女別）	公民館
市民の自主的学習グループ・サークル活動への支援	市民の自主的学習活動やサークル活動等の場を提供し、市民活動を支援します。	サークル数/ 団体数	公民館/ 生涯学習課
家庭教育学級開催事業等 家庭教育の推進	幼児、小・中学校の保護者を対象に子どもの成長に伴う理解や保護者の役割など、家庭教育の重要性を学ぶ学習機会の充実を図り、各種情報を提供します。また、園・学校・PTAなどとの連携を深めることにより、親同士の交流、ネットワーク作りを支援します。	学級・講座・講演会 開催数/ 参加者数（男女別）	生涯学習課
乳幼児と保護者のための おはなし会	絵本やわらべ歌などを通じて、保護者と乳幼児が良好な関係を結べるよう支援するため、おはなし会を開催します。	開催数/ 参加者数（男女別）	図書館
生涯学習講演会開催	健康、歴史、環境など市民のニーズに応じた講演会を開催します。	講習会開催数/ 参加者数（男女別）	生涯学習課
高等学校等開放講座	高等学校及び専門学校の施設と機能を開放し、専門的な知識・技能を習得するための学習の場を提供します。	講習会開催数/ 参加者数（男女別）	生涯学習課

④成果指標

指標名	前回策定時 (平成22年)	現状 (平成27年)	目標値 (平成32年)	担当課
「学校教育の場で」の男女の地位の 平等感（「平等」という割合）	58.2%	58.0%	64.0%	市民協働課

* 目標値の達成状況は、次期計画策定時に実施する市民意識調査で把握します。

施策の方向性3 国際社会と協調した男女共同参画の推進

①現状

本市には、成田空港の利用を通じて、多くの外国人が訪れており、県内の外国人宿泊者数の約7割が本市に宿泊しています。また、登録外国人数は3,000人を超え、人口に占める登録外国人数の割合をみると、県内の市の中では3番目に高くなっています。

②課題・方向性

本市では、地域、職場等、様々な場面で、外国人と交流する機会が多いことから、異文化や価値観の多様性を理解するための取り組みが必要です。

また、外国人との交流活動を進めていく中で、男女共同参画に対する意識や考え方の違いを把握し、相互に理解を深め、あらゆるひとが住みよい社会にしていくことが必要です。

③事業

事業名	事業内容	活動指標	担当課
外国人への情報提供の充実	外国語版パンフレット等の作成など、外国人への情報提供の充実に努めます。	事業実績	観光プロモーション課
外国人相談の充実	英語、スペイン語等多国語を活用した相談を充実させ、外国人の生活環境の充実に図ります。	外国人相談件数 (男女別・言語別)	市民協働課
在住外国人との交流活動の充実	国際交流に熱意のある市民との協働により、在住外国人との交流事業を充実させ、異文化や価値観を理解し合い、国際的な視野を持つ人材育成を推進します。	交流会実施数/ 参加者数(男女別) *外国人交流イベントを含む他の交流事業と合わせた数値	広報課
国際交流事業	成田市国際交流協会と連携し、友好・姉妹都市との交流事業などを通じ、外国の方々と心から打ち解けてお付き合いできるように、都市間・市民間の相互理解の進展を図ります。また、市民参加型の国際交流を推進します。	成田市国際交流協会会員数(男女別)	広報課

事業名	事業内容	活動指標	担当課
ホームビジットの推進	相互理解や市民の国際感覚の育成を目指し、外国人観光客を対象に市民の家庭を訪問するホームビジットを推進します。	ホームビジット 協会会員数（男女別）/受け入れ家庭 登録件数/受け入れ 人数	観光プロモーション課
言語教室の開催	市民と外国人の相互理解を深めるため、外国語教室及び日本語教室等を開催します。	教室開催数 （言語別）/ 参加者数（男女別）	公民館
国際市民フェスティバルの開催	「国際市民」を育むとともに、市民と外国人の交流を促進するため、各種市民サークル団体などと連携して、国際市民フェスティバルを開催します。	参加者数	生涯学習課
国際理解教育の推進	小・中学校において、外国人英語講師を活用し、国際理解教育の一層の推進に努めます。	事業実績	教育指導課

④成果指標

指標名	前回策定時 （平成22年）	現状 （平成27年）	目標値 （平成32年）	担当課
外国人交流イベント参加者数	-	928人	1,000人	広報課
国際市民フェスティバル参加者数	1,500人	3,500人	4,600人	生涯学習課

*現状は平成27年3月末（平成26年度）の数値

